新京日日新聞

何應欽を總指揮に　先づ内部結束を固む

一段落後對外積極策に出る

支那軍の對熱河策戰

〔天津七日發國通〕熱河省失墜後に於ける支那の熱河軍事は何應欽これを擔任して保定に前線總指揮部、通信部を設置し、何應欽自ら河北各軍を指揮するに決し、待機中の平均寺四ヶ師二ヶ師は通州、辛店の線に集結中、古北口には東北軍第百十師、第百十七師を、喜峰口には各軍を集結し、張家口、多倫一帶の線には山西軍傅作義、平漢線の石家莊には山西軍、李服膺軍各軍共昨朝來急速移動を開始した　右は中央軍の集結を待つて熱河の奪還を宣傳しつつ、拾收困難に陥りたる學良正規軍の收容退防止及孫殿英以下寢返り軍の武裝解除等專ら内部的の工作にして、右が一段落つけば、更に出るものと見られて居る

北平を中心に中央軍隊を集結

反張派の防壓に努む

〔天津七日發國通〕鄭州に於ける蔣介石學良の會見は、全く極秘裡に行はれたもので學良は蔣の召電に接し、五日先づ保定に抜けて姿を消し、突如鄭州に赴き、一方蔣介石は南昌より、先づ漢口に入り河北の善後處置を協議したが、茲で蔣介石の北上は決定され同夜胥斗寅等と協議、愈々正式に午後十一時五十分衞隊を伴ひ北上したものである　お蔣、張會見に於て、河北軍權は一時何應欽に讓り、中央軍は北平を中心に集結し、學良軍の拾收と反張派の蜂起を防壓し、再度北平軍事分會を充實し時局を混亂より救ふといふに決したものである

訪れた通州に集結の中央軍

已に三萬に達す

〔天津七日發國通〕中央軍第廿五師は通州に集結を完了し同じく第二師は目下通州に急行中で、本日迄に到着結集せるもの約三萬に達した

蔣北上の眞相

普通列車で鄭州へ

〔漢口七日發國通〕熱河敗戰に伴ふ北支問題處理の爲め北上說が傳へられてゐた蔣介石は五日午後南昌發六日朝極秘裡に九江から軍艦楚有に乘込み、午後四時半漢口着一應三省操匪總司令部に入り、司令部幹部を集めて訓示し、午後十一時半普通列車で北上したが、北平に着するや否やは不明である

〔北平七日發國通〕平津守備の爲め學良は曩に張家口にある何立中軍の南苑及び密雲移駐に依り滿洲國建國の理由を宣傳し早くも承德に平和の春が

學良鄭州に赴き

蔣介石と重要會見

〔天津七日發國通〕張學良は六日鄭州に赴き蔣介石と會見し即日午後二時歸平した

承德奪還決議

熱河民衆後援會が

▷▷▷▷▷▷▷おこがましくも

熱河に於ける支那軍潰滅に對し學良以下の將帥は目もあてられない狀態で承德より連絡のため北平に歸還した、一將校は順承王府に於て銃殺せられた、又北平軍事委員分會及熱河民衆後援會は五日それぞれ重要會議を開き承德奪還を決議した、その眞意は古北口を維持したいと云ふカク聲に過ぎないものと見らる、學良は直に古北口に向ひ糧食、彈藥の輸送を命令し、朱慶瀾も又傷勇軍に古北口死守の命令を傳達すべく大童になつておるが、後援會の手にて六日朝より小銃彈、手榴彈の輸送を開始した

敗殘の熱河軍　錐子山に集結中

〔錦州七日發國通〕赤峯にて我軍に擊退された、馮占海、李海青、孫殿英の諸軍は逐次錐子山に兵力を集結中である

干兆麟の戰死を正式に發表

〔天津七日發國通〕熱河の激戰で湯玉麟の損害は頗る多大であるが、萬福麟の第百三十師長于兆麟は後源の戰で遂に戰死した旨、昨日正式に發表された

承德にも一陽來復

治安維持、政治工作着々進展

〔承德六日發國通〕承德の治安維持に就ては目下憲兵隊が主となり補佐役として商務會が之に當り着々奏效しつゝある一方政治工作政治工作員の手

滿洲國の阿片問題（九）

醫學博士　久保田晴光

（十四）滿洲國の戒煙政策と關東廳

滿洲國の阿片統制は之と境を接する國々よりの密移出入に依つて乘さるゝの危險はみな定まらい而も莫大の阿片を有する熱河省境又浦鹽領露領境に於ける警戒なる……

熱河の治安急速に復舊

〔新京七日發國通〕熱河方面の治安復舊は着々日滿兩國によつて整備され、敵軍の破壞せる鐵道其他の交通網の復舊も意外に早く、朝陽、北票間の交通並に同方面の破壞道路も整備され、何れも近日中に開通の見込である

軍政部總長へ祝電

川島中將から

朝鮮軍司令官川島中將より滿洲國討熱作戰軍總司令官たる

湯玉麟嚴罰を軍事分會で決議

湯玉麟の所在は不明なるも確なる情報によれば兵三十を引率して豐寧に退却したもの如くである各方面から湯玉麟處罰の聲高く南京中央軍事委員會では五日臨時會議を開き戰はずして領地をすてゝ退却した將領は嚴罰に處すべし又各軍は死決して敵を防ぎ國内に一歩たりとも侵入せしむ可からずと北平軍事分會に發電した

湯の虐政から救はるれば

家を燒かれてもいゝ

〔承德六日發國通〕承德入城の川原挺進隊河野參謀を訪問せる米人クルフクマンの談に據れば承德市内の某寺院は戰禍を蒙つたが其處の僧侶は湯玉麟の如き惡魔の手から救はれる事を思へば家の一つ位燒かれても惜しくないと洩して居たと

軍事工作より政治建設工作へ

對熱政治工作一般方針決定

急轉回する滿洲國

六日の國務院會議で決定を見たる對熱河政治工作一般方針は左の通りである

一、行政機關　昭烏達盟區（緜棚を含む）は興安總署の監督に屬し、興安西分省となし分省公署を開魯に置く

右以外の地域を熱河省とし省公署を承德に置き省公署辦事處を朝陽及び赤峰に置く

二、對熱河中央機關　中央に熱河政治工作中央幹事會を設け、政治工作に關する計畫及び統制をなす、その事務は民政部之に當る　錦州に熱河政治工作辦事處を置き承德、朝陽、赤峰に

三、財政方針　支出現狀維持を宗とし關稅鹽稅以外の省收入を以て經理せしむ、但し最近、不當又は不正に徵せられたる一切の惡稅は之を改廢す、各地に財政工作班を派遣す、政治工作班と連絡し、中央幹事會及び錦州辦事處の統制に服せしむ

熱河省復興の根本策大綱決定

〔錦州六日發國通〕滿洲國政府當局及び日本側首腦部では熱河省の復興、發展の根本策に就いて槪要を決定、大體次の如き大綱の下に一日も速かに熱河の復興を計ることゝなつた

一、治安確立の爲め開魯、烏丹城、赤峯、凌源、承德、朝陽、其他要地に軍隊を常置し、敗殘兵の掃蕩に當らしむること、省内部の政治的攪亂運動を取締る爲め、各要地に憲兵隊を駐劄し反日滿分子を根據より掃蕩し安居樂住を計る

二、省内の各重要なる地點の交通連絡を緊密ならしめ道路の改築修理に依つて交通を至便ならしめ、民衆の生活を幸福にする

三、通信の完備を計り新京、承德間、錦州、朝陽、凌源赤峯、烏丹城、開魯、通遼等の通信を完全にし、中央政府の指令を徹底せしめ、且つ貨材取引の圓滑を計り産業を發達せしむ

四、閉鎖中の各學校を開校し不足の際は新設し王道的教育の普及を計り文明の光りに浴せしめる

五、滿洲中央銀行の分行を各要地に設置することを命令し、地方銀行の逼迫を緩和すると共に中央政府の理想を實現せんとす

六、病院を建設し疾病者を收容して暗黑の世界に沈んでゐた者を救濟する而して之に對する經費總出に關しては熱河省復興債券を發行す

米國の金輸禁で我紡績界の影響甚大

〔東京七日發國通〕日清紡績社長宮島氏は左の通り語る　紡績業はアメリカの金輸禁止により影響甚大だが大局には悲觀は禁物である、圓暴騰により手持綿花が値下りとなり損失を受けるが、これは一時的のもので損失額も大した事はない、圓爲替上の割合によつては輸出入に差支へあらうと見られてゐるが競爭國たるイギリスでもポンドが暴騰するから悲觀の要はない

休業中の辨法

〔ワシントン六日發國通〕財務長官ウディン氏は、銀行休業中に於ける辨法に關し六日左の如く言明した　全國的銀行休業の結果、民の金融上に多大の不便を免れぬ從つて政府は即時右困難を緩和すべき手段を講ずるだらう特に俸給類の支拂は一日もおろそかにすることを得ず、これが爲め必要なれば諸銀行の現金支拂に對する制限を緩和する考へである

國際貿易は特殊關係となる

―中島商相語る―

〔東京七日發國通〕アメリカの金輸禁止の報に中島商相は本日左の通り語る　爲替は我國の關係は

金本位實施の爲　支持する用意あり

佛政府當局言明

銀行休日令は比律賓にも適用

國務院會議議決事項

滿洲中央銀行紙幣流通平均額

我將兵に感謝の意

本日下院に上程

〔東京七日發國通〕政友會は今回の熱河討伐戰の將兵に對し、下院として國民感謝の意を表示すべく、七日の各派交涉會に感謝慰勞の決議提出を協議することになつたが、大體同日の本會議に上程可決されるであらう

兩事變の論功行賞

一三千萬圓程度

〔東京七日發國通〕柳條溝の鐵道爆破に端を發して茲に三ケ年、或は北滿の曠野に、又は上海の戰に轉戰した皇軍の中、戰死者の分は既に六回に亘つて論功行賞の御沙汰があつたが、更に全戰功者軍人軍屬廿五萬人の論功行賞に移る可く、陸軍省では八年度追加豫算として今議會に提出する事となつた、其經費二千萬圓乃至三千萬圓に就て目下大藏當局と折衝中で、未だ最後の決定を見るに至らないが、國庫財政の狀況にも鑑み出來る丈け嚴選し、あくまで事件に直接關係した者のみに限り精神的にその名譽ある勳功を表彰する方針である

獨乙總選擧

政府派絕對多數を占む

〔ベルリン五日發國通〕獨乙總選擧公式發表の結果は次の如く判明した

△政府派

黨派	議席
國粹社會黨	二八八
國權黨	五二
計	二四七

△反對派

黨派	議席
社會民主黨	一二五
共産黨	八一
中央黨	七三
ババリヤ人民黨	一九
其他	二
計	二〇〇

即ち政府派は四七の差を以て絕對多數を制し茲に獨乙は遂にナチス獨覇の日を現出するに至つた

中銀總會に於ける總裁演說要旨（五）

口…運用に當らし堅實を旨として引繼の本もさらざるや、努め、そつつあります、本行が創々多事多難なるに拘らず基礎を安固ならしむるを且つ望外の好成績をあげるは一に政府當局の指導を得たると、善隣日本氏各位の厚き同情によるのでありまして、謹んで感謝の意を表する次第でありまして業務の詳細に關しては報告書に讓りて之を省略します（完）

人事往來

▲吉田大將　七日午後七時分發南行
▲林少佐（關東軍付）七日午後時チチハルから來京
▲前田茂助氏（朝鮮清津府）七日午後七時五十分來京ホテル
▲魏宗蓮氏（吉林權運署長）日午前八時着京
▲吳元敏氏（吉林警備司令部參謀長）六日午前八時分哈爾濱へ
▲廣倫氏（洮遼警備司令部）六日午前九時四十分
▲孫輔忱氏（吉林省長）六日正午來京
▲池田航空兵少佐（飛行隊）同上

連日市内各所で電話の故障つゞく
原因は地下が氷結のためか 總動員で漸く復舊

會社、官廳は勿論商家に取つては一日も缺かされぬ重要な電話が去る二十三日頃から市内北中央通、露月町東一條通郵便局の一帶に亘つて不通となり、或は送受話

＝不鮮＝明等突然の障碍に陷つたので驚愕した、加入者はあはてふためいて電話局へ馳け込み至急修理方を懇請する者引きもきらず、今日か明日かと復舊するのを鶴首してゐたがそれも空しく遂に延び／＼となつて故障發生以來、六日を經過した二十八日漸く平常にかえりやつと安どの胸をなで下したが、然し前例のないこの大障碍の原因は果して何處にあつたろうか電話課としてもその原因に付いて未だ確定的な事は

＝不明＝であると云つてゐるが當課の專門者の見解によると地下線の故障で現在の地下線は短い鐵管によつて周圍を覆はれてゐるため毎日遠慮なく襲ひ來る酷寒のため地下が總て氷結し、其の影響を受けた鐵管接續點の狂いが最大の原因と見られてゐる、特に今回故障を來した場所は地盤極惡の地點だつたそうで障碍當時の的となつてゐた電話

＝非難＝課では以來犬塚技手先頭に立つてこの寒風も物かは多數の工夫連を督勵して障碍個所發見に努めた結果、廿五日地下ケーブルの故障なる事を發見し消防隊角で從來の地下線を切斷假線を接續し辛うじて通話を守つてゐる狀態で來るべき解氷期を待つて大々的修理を施す筈であるから今後は今回の樣な大範圍に亘つての障碍を見る樣な事はないと語つてゐた

震災義捐金百圓を贈る
城内料理店組合で

新京城内日本人料理店組合では金百圓を東北震災義捐金として六日猪下組合長は總領事館警察署を訪れ屆出た

毒瓦斯原料密輸犯人
續々檢擧さる

〔大阪七日發國通〕毒瓦斯原料たる硝密輸犯關係者たる田中常三郎及福島某の兩名は昨朝憲兵隊に留置され、一方基隆發の扶桑丸の船中に於て逮捕された福島福之助の長男榮一郎と京都の會社員大塚某、青戸某の二名は昨六日夜十時何れも憲兵隊に連行された、これにより、余す所福島福之助が逮捕されるに至れば登場人物の顏觸れは出揃ひ官紙的陰謀の全貌は完全に暴露する譯である

武藤軍司令官始め三將軍へ祝電
國務院會議の結果

鄭國務總理は六日院議の結果各部總長一同を代表して武藤關東軍司令官第〇〇團長並に第〇〇團長に宛て

熱河平定の大業正に完成せんとするに當り、本日國務院會議の決議を以て閣下並に將兵各位の偉大なる御功績と甚大なる苦心に對し萬腔の謝意と敬意を表す

との祝電を發したに對し武藤軍司令官より折返し七日左の返電があつた

國務院會議の決議により丁重なる祝電を寄せられ感謝に堪へず、今次作戰の結果は各位御協力の結果に依る各部總長に對し宜しく傳達ありたし

滿洲國軍政部 軍歌を制定す
近く一般から懸募か

日本留學生にして日本文學に長ずる軍政部囑託米氏が日本國民歌を模せる近作だが、滿洲國々歌制定のため廣く歌詞を日滿兩國民に求むる端緒として取敢へず其近作を發表せられたるもの、何れ軍政部では懸賞等の方法に依つて廣く募集することになるであらう

(一) 滿蒙は 我等が祖國 死力を盡し 斷じて守れ
(二) 三千萬 我等が同胞 可憐の民を 斷じて救へ
(三) 亞細亞、亞細亞 正義に擧る 我等が、亞細亞 斷じて安し
(四) 金色の 民は我等 榮ある文化 斷じて輝る

謝總長に 外相から返電

東北地方の震災に際して滿洲國謝外交總長より内田外相へ見舞電報を發したに對し外相から總長宛て七日左の返電があつた

今回東北の災害に際し早速貴國を代表して懇篤なる見舞の言葉を寄せられ感激に

義捐金支出可決

七日の參議府會議で六日國務院會議に於て決定した日本東北震災義捐金支出の件を審議し可決した

轉入學の申し出はお早くなさい
新學期を目前にして學校では準備開始

室町小學校では昨年以來の著しい人口の激增に鑑み四月新學期の轉、入學兒童は相當多數にのぼるものと豫想し種々と準備中であるが、若し轉入學希望の向は至急學校當局へ申出られたいとなほ同校畢式順は左の通りである

△三月二十二日、午前九時尋一、二修了式 同午前十時幼稚園修了式
二十三日、午前十時尋三以上修了式 及尋六高二卒業式
二十五日、午前十一時范家屯分教場修了式
△四月四日、午前九時始業式 五日、午前十時入學式 六日、午前十時入園式

東京都制案 臨時議會に附議

〔東京七日發國通〕政府では本日午後四時院内に臨時閣議を開き東京都制案を附議決定し議會提出の手續きをとり聯盟脫退に關する通告文も外務省の準備完了せば附議される

シヨー翁 首相、陸相と會談

〔東京七日發國通〕バーナード、シヨー翁は本日午後四時より陸相官邸に荒木陸相を訪問、敬意を表し滿洲問題と國際問題との意見を交換した、八日午前九時總理官邸、齋藤總理を訪問して同樣會談する豫定

新京長勇會の ダンス麻雀排擊に
各方面から激勵電報

既報、新京長勇會では時局柄ダンス、麻雀を排擊して市民の覺醒を促すべく起つたが一度この報が本紙によつて傳はるや大連、奉天、安東その他各地から激勵の報を寄せるものあり、同會では更に徹底的な運動を起すべく協議中である

中學と高女は筆答試驗全廢
きのふ三校一齊に行はれた 試驗情景悲喜交々

上級學校を目指す小學兒童が指折り數えて待ちに待つてゐた今日の日、七日は遂に來た新京では新商、中學、高女が一齊に午前九時から入學試驗を開始したが地元の新京は

＝勿論＝沿線各地から集つた生徒等は引率の先生を先頭に元氣良く冷埋なる眼を輝せながら然しそれでも波打つ胸の鼓動をじつと押えながら積雪をしつかと踏きざんで受驗場へと急ぐ可憐な姿はやがて前面に橫たはつてゐる試驗地獄の渦中に投ぜられると思えば實に涙ぐましいまでであつた中學、高女はこの試驗地獄を幾分でも緩和する意味で筆答試驗を全廢したので直に

＝口頭＝試問に移り四、五名の先生達が結果如何にとおびえきつてゐる小さい生徒達をいたはりつゝ次から次と優しく問ひかける情景は又美しいものがあつた、七日は沿線各地からの志願者を全部終了し八日は室町、西廣場生徒の試問を行ふ筈である、新京商業は他二校に比して志願者も多く種々の關係上

＝筆答＝試驗の廢止は行はれぬので簡單な筆頭試驗を定刻九時十分から開始、口頭試問、眼步檢査とさべこうりなく進み午後三時頃には既に終了したなほ發表は十日頃の豫定で行ふ筈であるが受驗者には判明次第內報する

水飢饉の不平
滿鐵關係外の人々から

激增する人口に反比例した市內の飲料水は日每に不足を感じ將來の水飢饉を豫想され滿鐵側では止むなく定刻斷水を實行しておりかてゝ加えての昨今の酷寒で總ての鐵管が氷結してゐる爲、一日として缺かされぬ飲料水も思う樣に流出せぬが、最近滿鐵では市民から解氷方を依賴してもなかくこれに應ぜず二日も三日も斷水のまゝである然るに滿鐵關係者の依賴であればいつなん時でもこれに應じてゐるとの事で市民の蒙る迷惑は一通りでなく非難の聲がたかまりつゝある

學良宛の軍用品を積んだ問題の春丸大連入港
船は動かさぬと頑張る船員

〔大連七日發國通〕血迷つた逆將張學良よりの注文品の送主たるジヤパン、フオード、荷受主たるアメリカン、チヤイニース、トレージング、コンパニーの軍用トラツク百臺、乘用自動車二臺、石油三千箱を積載して

＝去る＝二月廿五日橫濱を出帆し、塘沽に向つた大同海運傭船田中汽船所有の春丸(二一六八噸)は二月唐津港にて薪炭を積込みの際、當局の探知する所となり、敵國に武器を供給するものとして囂々たる輿論をまき起したが、既に輸出許可證の後としてそのまゝ出帆、同船は航海中突如進路を變更して今曉零時廿分大連港に投錨し竹澤船長以下卅六名の船員は敢然愛國的心情より輸送を拒絕し橫濱に返送するか、或は大連に陸揚するか、決定するまで波紋は益々擴大されて來た、これより先、春丸大連入港と決定するや、當地憲兵隊並に水上署は頗る緊張し、又當地日本海員協會並に海員組合支部でも本部の指令に基き春丸の入港を待受けて居たが、午前八時半小泉濱田兩組合支部長は、憲兵隊員水上署員等と共にランチにて港外の同船に乘り付け、船員等の意向を

＝聽取＝したが、竹澤船長は逸早く善後策協議のため上陸して不在、船員の決意は頗る固く、日本國民として軍用品を敵國に送る譯には行かぬとがん張つて居り、現在の處解決方法は豫測されぬが、西岡一等運轉手は左の如く語る

積込の際も學良の軍用品ではないかと思ひましたが、當局でも輸出を許可したので出帆しました然し航海中に學良の手許に送られる事が判明したので我々も日本國民として輸送する事は良心が許しませんから、進路を變更し大連に來た譯です、今後の事は船長が會社と打合せ、しかる可く解決するでせう

又、猪○水夫長、永島火夫長は交々

學良の軍用品と認められる以上支那へ向けては一寸たりとも船は動かしませぬと頑張つて居る

吾等の快行軍は 全く自動車のお蔭だ
米山隊長矢崎參謀談

〔東林子六日發國通〕服部部隊米山先遣隊に對して萬里の長城一番乘りをさせたのは全く自動車が與つて力あるが、躍動の矢崎參謀及米山部隊長は交々語る

今回の我部隊の壯擧には自動車の助力が絕對的であつた、山岳重疊する、然も熱河の嶮難を突破し、ナポレオンのアルプス越にも比すべき難行軍を續け、その間八臺の自動車を犧牲にするの余儀なきに至つたが、七日間で八十里の大行軍に敵を滅茶々々に潰亂し、萬里の長城頭上高く日章旗を翻へし、恐るべき帝國陸軍の行軍威力を發揮し我先遣部隊として絕對の名譽をかち得たのは全く自動車の優れたる功績によるもので、軍の行動に一大記錄を作つたもので、これからの我軍には自動車の活用愈々必要となるに相違ない

歐洲大戰にフランスが兵員を十倍に動かし得たのも自動車の力だつた、我軍の自動車隊は未だ完全の域に達して居ないが、國產品をもつて充實したものにし度いと思ふ、已に愛國機がある如く同樣陸上にも愛國自動車隊が一日も早く出來て欲しい

〇〇部隊の主力
承德入城の劇的光景 數萬の各階級市民心から歡迎

〔承德六日發國通〕五日半泉を出發した〇〇部隊の主力は六日午後三時半蜒々半里に亘る〇〇車の列を造り、隊伍整然承德に

＝入城＝した、此日天氣晴朗、承德一圓の山岳は殘雪を頂き絕好の入城日和で、承德城外廣場には(歡迎新滿洲國)のアーチが造られ、商務會、紅卍字會の連中及市民男女學生數千名、之に正裝した喇嘛僧が手に手に日滿兩國旗と紅卍字會の大旗を揭げて待ちわびるなかを天朝山峻嶺を下つた、先頭自動車が日章旗を翻へしつゝ黃塵を蹴つて驀進、續いて〇〇部隊の自動車が音も靜かに現はれた、見れば〇〇部隊長は朝陽以來の戰鬪に頭は黑く汚れてゐるが元氣旺盛、歡迎の承德市民に一々擧手の禮を示しつゝ省政府〇〇部に入つた、此の時先着の川原將軍は「お目出度ふ御座います」と感激し互に堅い握手を交した、それより川原將軍は〇〇部隊長に戰況を

＝報告＝し、〇〇部隊長は省政府へ山の樓上に幕僚と共に登り、市民から歡迎の祝辭を受けたのに對し

諸氏の歡迎を深謝す、今後熱河省民と共に協力一致して事に當る

と力強い言葉に市民一同萬歲を叫び、手に手に小旗をうち振つた後、川原部隊は〇〇部の前に整列したが、その將兵に對しても感激に面を輝かして

諸士はよくやつてくれた、心配して居たが皆の達者な顏を見て余はこれ程喜ばしい事はない、これ皆皇恩の賜物で只三名の戰死者に對しては誠に氣の毒であつた

と一歩思はず乘り出せば、川原將軍は感極まつて眼がしらに熱淚の露、全くの劇的シーンだ、のち新聞記者に對し懇切なる感謝の辭を述べ、興……で部長を中心に勝栗で乾盃を舉げ遙か東南に向つて「天皇陛下萬歲」を三唱、斯くて意義ある歷史的入城の幕は下りた、時に夕陽傾岳午後五時

松田部隊の殊勳

〔錦州七日發國通〕松田部隊は五日朝黑水西方地區の戰鬪にて敵の遺棄死體五十、負傷百五六十、鹵馬四十、捕虜五、軍馬六、迫擊砲一を鹵獲した

松田部隊 烏丹城に入る

〔錦州六日發國通〕松田部隊は六日黑水附近を發し平泉附近にある董福亭軍の敗殘兵に大打擊を與へ、同日午前十一時赤峰に入城した、朝陽出發以來、肌をつんざく嚴寒と難行ひつゝ筆舌にも盡し難き難行軍を續け長驅五十余里を突破。威風堂々烏丹城に入城した、皇軍入城後の烏丹城は平穩にして烏丹城赤峰間に敵影を認めず

河原挺進隊 戰死僅かに二

四日承德附近に於て河原挺進隊に擊退されたる敵は第百六旅の第二百十二團にして南方に退却せり、挺進隊の行動開始以來の損害は戰死二、負傷四にして敵の蒙りたる莫大なる損害に比較して僅少なるは一に同隊の神速なる行動と敵をして抵抗のいとまなからしめ爲である

新京商事映畫部 組織を變更

新春座を根城に主として映畫上場を取扱つて來た、新京商事映畫部は從來岡田氏が全責任を負つて居たが今度は寵澤、永島、吉見、岡田の四氏が共同責任に改めたさうである

▲木櫻のレイ子、昨日郵便局に多額の爲替を組んでゐたそて貯金も……多分朝鮮の親元へ送るのでせう、ノウ／＼……では、內地の彼氏へ……それは末は丸髷と樂しい夢を追つてゐた彼氏、フーさん……光は發賣禁止になつてゐる樣ですから氣のもめる人は本人へ……惡く思うんじやないよ ▲同じくタカ子、頃とてもユーウツらしい ▲精養軒のヤエ子近頃さんに郵便局のひそする項に金持になつたらば好きな彼氏を抱いて寢かして手枕させて……フフ…… ▲泰東のスミ子さん、先夜三笠カフエーのホールにノウエンな姿を見せてゐました、そして滿洲國の〇〇さんとイチヤ／＼ ▲モナミの銀子、お尻の運動がとても上手です、醉ふと皆長の娘の睡ア迅速なお尻の廻轉を

經濟欄

米國の金融恐慌に伴ふ米國全土に亘る銀行休業の爲め海外爲替市場取引休業に伴ひ日本各地の取引所も休會した

株…三月八日午後一時立會
棉花、三品…三月十日立會
外既…三月十一日立會
大連鈔票當分休み

海外經濟

▲銀塊及爲替
倫敦銀塊 同 選限 紐育銀塊 米國爲替 同大連銀爲替 休

各地市場

▲上海標金 ▲上海日本向 ▲上海倫敦向 ▲上海紐育向 ▲阪神日米爲替 ▲大連特產 ●大豆 ●豆粕 ●豆油 ●高粱 ●小麥 ▲哈爾賓特產 ▲カルカツタ麻袋 ▲大阪期米 ▲仁川期米

新京市況

大豆 高粱 錢鈔現物 鈔票對金票 大洋對金票 國幣對金票 大洋對鈔票 不出來 不出來

〇〇〇に從軍 赤峯に入城する迄

赤峯にて宮崎特派員

二十六日晝、薄力火燒廟に滯留中の〇〇〇部隊司令部に追付いた大行李隨行の記者は、此處から八仙洞に進出する司令部に隨行することゝにして四日間辛苦を共にし馴染んだ監視隊の將兵と別れを告げ、互に武運長久を祈り合つた、薄力火燒廟はラマ寺で蒙古語を多く伴ひ、半沙漠地帶にめづらしく存する森林に圍まれてゐるが、李海青匪及び劉震東が昨年十二月此處に來り住してより俗塵によごされ、匪賊の巣窟と早變りしたもので二十四日茂木部隊が陣營中の劉振東の三百餘の兵匪と部落の中で肉迫戰を演じ忽ち十三名を斃した所で、この敵死体はすべて銃劍で突かれて居り、其の頑強に抵抗せるを示して居るが、一方我が方は一名の死傷者も無く、これ全く天運の加護なるは言はずもがな、沈着にして平素の訓練よろしきを得た結果であるこの一戰と相前後して池田〇隊は興蒙公司東方部落の李海青匪を此處に追擊したが逃ぐる敵は劉震東の前衛本部隊の根據地たる薄力火燒廟が既に陥れるを知るや、途を南北に沙漠地帶に逃げ込んだ。池田〇隊自動車隊通過の部落はこの部落のほとんど匪賊に荒され一物も無く宛然廢墟だ

▽——△

部落民は兵匪來を傳へ聞けば直ちに附近山中(林は殆んど無いが、小山や丘に積ねて洞穴を掘り、匪賊來の場合の隱れ家として居る)に逃げ込み其の通過を待つといふ、然し今回の李海青及び劉震東匪の如く、昨年十二月以來この地に移駐し來つたのでは、殆んどこの附近部落は半永久的に占領され、歸家の望を失ひ、知己を賴り四散したらしく、掃匪後も容易に部落に歸る者が無い有樣だ。

三千年來文明を誇つたこの民族に、未だ同胞相喰むの蕃風改まれぬ現狀を見る時、民を盲にして壓政を加へ、暴權をほしいまゝにして來た主權者の非道に「沒法子」觀をもつて仕へて居る良民こそ哀れむ可きである、我自動車隊は之等哀詩を綴る砂漠の眞只中を西へ西へと躍進、午後三時過ぎ八仙洞に着く、綏中縣此處にあり、宮長海が昨年十二月から此處に移つて良民を苦しめ女色を漁るをこれ毎日の仕事として居たが、廿六日夕我が皇軍を※じて天誅至り、戰はずして同地より狩立てられ恰皇として逃走した

▽——△

〇〇部隊は八仙洞に入るさ共に直ちに司令部を綏東縣政府(元綏東に在りしが近年此處へ移さる)内に設け、全軍の指揮統帥を行ふと共に一方宣撫員は直ちに縣知事代理公安局長代理何慶倫を公安局長として掃匪後の自衛團を組織し、團員百名、銃器六十挺を提供し熱河最初の政治工作は先づ綏東縣から行はれ王道政治下の地方自治團体は組織されたり、〇〇〇部隊の八仙洞に入るや、逸早く敬意を表し來りし何慶倫及び商會長等要人は異口同音に宮長海匪に苦しめられて縣政の暗黑なるを訴へ、宮長海に昨年十二月から食客として居座はられ、妻娘を妾に取られて居たとまらず。縣知事と共に避難せる土地の豪商燒鍋屋の朱某を呼戻し、縣政當事者起用方を願訴する等皇軍により、滿洲國王道樂土建設に馳せ參ずる誠意を示した、司令部は二十八日更に躍進司令部を下窪に移すべく午前九時半出發行く事三里餘りにして此地一帶は道路兩側とも老柳樹多く、聞けば地の特産たる柳行李の原木で一丈位にブツツリ切り、そこより一ぱい糸柳の如く新枝を出し、毎年これを切取つて行李類を製作するものと言ふ。此の邊りでは土地も割合肥沃で粟多く產し、沿道の土民は時ならぬ自動車隊の長列を見物すべくドシドシ沿道附近に集る、長に薄力火燒廟を逃亡した劉震東及び李海青並に八仙洞より辛くも逃げ延びた宮長海の敵匪は我が急進に追はれ追はれて此地附近を西走中追付いた池田〇隊快速隊及び茂木〇團協力して急追し來れる爲め、逃れ乍らも抵抗を續け老柳のかげに斃れ、小丘の下に轉り、四里の間に凡そ三百餘の遺棄死體を算し、尙負傷者を合すると五百を下らぬと見られた。この邊りは民家皆日の丸を戶每に立て皇軍を歡迎して些かも兵匪の惨禍をみぬが、之は皇軍の追及餘りに急にして遂に敵に踏止まる猶豫を與へず、爲めに部落を過ぎても掠奪の暇がなかつた爲で割合平和な田舍情緒を見せてゐる、〇〇部自動車は散亂せる兵匪の屍體を左右に見乍ら正午興隆地に到着した、此處は奈蔓田府四方廟下窪一帶を地盤とする兵匪中の最も强力なりと稱せられ、部下一萬五千を有する湯占海の勢力下にあり高田部隊入城の際も逆襲を試みたりして浮足立つた中にも獰猛な所を見せ結局本據下窪に敗走したが尙も急追する茂木池田兩隊の爲め本據に踏止まる隙もなく遠く赤峰方面に潰走した、午後一時隆興地を發した司令部自動車隊は夕刻下窪に到着、舊軍閥の兵營に宿營した町民各戶皇軍歡迎の日章旗を揭け、今迄に見ぬ商賣さへごしごしやつて居り、これが湯占海が數日前迄蟠居せる街かと思はせられた、湯占海は妾と共に逃げ込んだ穴倉の用意までなし居り我飛行機の爆擊を非常に恐れてゐたと言ふ

▽——△

〇〇〇部隊司令部は當地到着を知つた同地西方地域の奈曼王府の蒙古斯阿垣呼班爾は來訪し、〇〇〇部隊長と會見歡迎の意を表し湯占海匪の壓迫で皇軍討匪を知りつゝ之と協力出來なかつた事を謝し、今後は全力を擧けて皇軍への協力援助方を申出でゝ歸つたが、司令部下窪に到着の翌日午後再び王弟蘇達那木達爾濟及び家族を差向け誠意披瀝して歸つた、斯くて皇軍の赴く處土民の歡迎は大なるものあり、今後の政治工作に非常な光明を投げかけてゐる、長驅赤峰を衝くべき〇〇〇部隊は二十八日より一日にかけ續々西進を開始し、茂木〇隊は一日夕刻には赤峰東方高地の敵第一線に對陣した依つて〇〇〇部隊長は自ら僅かの衛隊を引具して長驅四十二里の赤峰へ向つて二日午前五時司令部を進め、途中山岳地帶橫斷の天嶮を冒し、匪賊の襲擊を受け乍らも眞一文字中央を突破し、〇〇部隊前衛部隊を追越して最前線に立ち、問答よりも何ず赤峰街道より進擊し茂木〇隊に次いで午後十一時半司令部は堂々夜の赤峰に入城した、これより先き老河河氷上渡河のため二十餘臺のトラック待機中兵匪三百餘來襲せるが、衛隊のため容易に片付けられ、敵は死体三を殘して東方へ逆走逃げ去つた、又司令部が途中天嶮を突破赤峰東方高地の沙漠地帶に這入つたのが午後四時にして、道路は高地の中腹を越へたのと北側にち廻せるものとあり、北側右廻の分は道巾狭く自動車隊の行軍に適せぬから司令部は高地中服を越へたが、山の中腹に達して沙漠は深く自動車隊は殆んど其自由を失ひ、僅か四里餘りを約七時間を費せるばかりでなく、惜しむらくは當時北側を迂回したらんか、容易に〇〇〇隊の通過を許し且つ丁度茂木〇隊と對陣激戰中なりし敵匪五千餘の第一線陣地左翼端に出で、完全に側面を衝く事を得た時刻にして、赤峰入城は先づ司令部だつたと青年將校等は赤峰入城後これと知つて切齒扼腕殘念がつてゐる

▽——△

斯くて〇〇〇部隊は二十三日〇〇を出發してより主道路行程にして百二十里、赤峰に先頭部隊は七日間後方部隊も十日間にして入城し其の迅速機敏さ實に疾風迅雷、敵の最前線たりし熱河東境よりひた押しに押し寄せて敵に踏止まる餘裕を與へず、遂に追擊戰のみに終り、最後の東峰東方高地帶の對戰の外は大部隊の對戰を見ず、然も此間〇〇〇部隊(朝陽より進擊せる松田部隊を除く)犧牲者、戰死四名、負傷十數名、凍傷者若干名に止んだ事は、敵死傷者五六百に對比して皇軍の威力稱揚に足るものがある、殊に特筆大書すべきは二十三日午前五時〇〇を出發した茂木〇隊の大行李隊で佐藤隊長の指揮する僅か〇〇小隊の輸送掩護隊を以て二百臺の大行李隊を率ゐ、赤峰迄主道路行程百廿里に亘るを僅々七日間に茂木〇隊と共に赤峯入城した事で、日行程平均十七里强、每朝五時出發し、夜の二時頃迄行軍を續け、然も全員支障なく目的地赤峰へ到着した、大行李隊長吉村特務曹長の活動は本隊の食道にいさゝかの不安も無く、輕快な活動をなさしめ得た主因として〇部隊絕讃の的となつて居る

社會南針

新京日日新聞社

新京電報話局長王家棟

新京商業の入學試驗問題

七日施行された新京商業學校の入學試驗問題は左の通りである

國語 (二十分)

日本は今ほんとうに大切な時です。非常な國難に臨んでゐます、併しこれは私達日本の力を試すよい機會だともいへます

私達は(イ)擧國一致、非常な覺悟と決心を以てこの(ロ)未曾有の國難をみごとに突破しなければなりません。

「やがて日本から滿洲國から(輝かしい)平和の(光)が世界を(照らす)こととなるでせう。」

右の文を讀んで次の問に答へよ。

一、日本は今何故非常な國難に臨んでゐるのか

二、何故日本の力を試すよい機會といへるのか

三、——の語を解釋せよ

四、「」中の( )の中の語を使はずに元通りの意味の文に書改めよ。

單語

さへぎる　物足らぬ　さかく　強いて　實のもちぐされ　何でもない　成程　尋常でない　見るから　よいあんばい

右の單語の中から選んで次の文の( )の中に適當な語をあてはめよ

一、彼の繪には何となく( )所がある。

二、私は彼の學識の( )のをさとつた。

三、仕事の終らぬ中に日が暮れたが( )月が出た。

四、彼の顏は( )賢さうだ

五、財を蓄へるのみで利用の道を知らないのは( )といふ

一、裸島より渦潮見れば、胸も波だち眼もくらむ、船頭勇まし、此の潮筋を、落し漕ぎゆく、木の葉舟

船頭以下を普通の文に書改めよ

二、十和田湖は一部分秋田縣鹿角郡に屬し、「其の」餘は靑森縣上北郡に屬してゐる「此の」邊は一帶に山地で、湖面は海面より四百メートルも高い。

「其の」「此の」の指示してゐる語を書け

次の文字を使つて熟語各一つ作れ。

(注意上下どちらに使つてもよい。例……(産)……物産、產物)

使、便、潮、湖、書、費、愉、輪、韻、數、

次の語句を綴り合せて筋の通る文にせよ。

各語句の上の□の中に數字を記入してその順序を示せ。

面目をうかがふを得べし

論語は

孔子及び其の孫弟の

此の大聖の

言行を集錄したるものにして

最もよく

算術 (十三分)

(1)次の各を計算せよ

(イ) 2000圓—580圓—715圓—87圓

(ロ) 35十(1277×)21—28 2分の7

(ハ) 428—327 8—18×7

(ニ) 046KM×035÷23分の150

(二)一枚50瓦の鋼鐵板を62圓50錢の割で買入れると8125瓦で鋼鐵板買ふことが出來るか

(三)亞鉛195瓦に稀硫酸ヲ加ヘテ水素ガ6瓦トレル水素15瓦とるには亞鉛何瓦を要するか

(四)内ノリ縱33GM横15GM深サ8GMノ箱に水幾リットル入レルコトガ出來るか

(五)今年の一月一日は日曜日であつた來年ノ一月一日は何曜日か

(六)十六時三十分(午後四時三十分)新京發の列車は翌朝八時に大連に着く此列車は新京から大連まで何時間かかるか。

地理 (十三分)

(一)日滿連絡新空路中、新京——東京間の航空路及着陸地を次の略圖中に記入せよ(略圖省略)

(二)製材、綿、鹽、羊毛、製絲を夫々最も關係ありと思ふ左記の地名の下に記入せよ

岡谷、印度、嘉義、濠洲、鞍山、

歷史 (二十分)

(一)本年紀元何年か

(二)次を年代の古い順に番號を附せ

室町時代、江戸時代、鎌倉時代、奈良時代、平安時代、

(三)次の事項と密接なる關係ある人物名を下に記せ

海國兵談

大日本史

條約改正

神皇正統記

理科 (十三分)

一、カヘルは冬の間見受けないがどんな處にどうして居るのだらう。

二、二なの滑車を使つた圖のやうなしかけで五〇瓩の品物をつり上げようとするには約何瓩の力を出せばよいか(圖略)

變幻黒船往来

新興映畫上映及上演

(作) 寺島柾史 (畫) 布施長春

第三十五回

春の草野 (五)

くせものは白い眼を頰かむりの下からのぞかせ四ン這ひになつてのそり近づいてくる。

『誰ぢや!』

『おれだよ』

すつくと立ち上がつた。木綿の尻切れ袢天のみすぼらしい身扮り。

『……うむ……』

その聲にきゝ覺えがあつたので白軒も、思はず立あがつた。

『おい、お主ア、どこへ廻つても女にすかれるのう』

くせものは、かむつてゐた手拭を無雑作にすてた。日に焼けた、霰武者な顔面があらはれた。

『やはり、兵浦か……』

『さうよ。いつも悪いところへ面を出してすまんのう。へゝゝ』

わざと、高笑ひを投て、白軒の背後の女をじつと見る。

さては。奉行所へ訴人したといふのは、兵浦、うぬであつたのか……』

『おつと、はやまつては困る……こゝへ現れたのは、もちろん、その裏同格之進には正直正銘まちがひはないが、つい、この一と月がほど前のおれとは人間が異つてゐる。兵公と同様に、本名をみだりに名乗られては、いささか迷惑する譯ぢやよ』

『………』

『それとも、お主の本名を、こゝで名乗つて相殺といふことにしようか』

いつのまにか白軒の身邊へ近づいて、薄氣味わるい笑ひの眼を注いでゐる。

『なるほど、曰くありげなその様子――そこへ坐るがよい……』

『坐りたいが、あひびきの邪魔だらうぜ……おい、なんと名をよんでよいのぢや』

『佐次郎とでも、よんでくれ』

『さうか、佐次郎か……ところでどうぢやな。むかしの憎しみ、怨み、あらゆるものを一切合切、この場で棄てゝ、お互味方になる雅量を持合さぬかな』

格之進は、いつのまにか草原に腰をおろし、大あぐらをかいてゐる。これが、公儀御用薬草植場の御用番をつとめたほどの人物であらうか……。

『味方?』

『おうさ』

『敵は?』

『知れたこと、あの浮世繪師の山村紫園、おなじく江戸大工の青剃り藤太、いま一人眼旗下の成れの果て、乾典膳といふ人間、この三人ぢや』

『………』

その三人なら、こちらにも重々の恨みがあるのだ。フランス軍艦に巧に忍び込み、出帆ののち船底から這ひ出し、外國渡航のことを隊長に歎願しようと、まさに八分どほり計畫をすゝめたとき、その三人のために見事に破られ、あまつさへ、乾典膳といふ眼旗下上りの白刃をのがれ、海中へ飛び込み、すんでのことにも屑とならうとした。にがい失策をなめてゐる白軒だ。その顛末をこの場で洩して、こちらからすゝんで格之進と握手しようといふのが本來だが、何故か白軒、逸のべた手を引込めて、急につめたい顔になつた。

『何故の……』

格之進はむしろ不審な顔をし